



ものづくりは人づくり。

ものづくり・技術専修の学生は、小学校教員の免許の他に、中学校技術・家庭科の技術分野の教員免許、さらには高校工業の教員免許を取ることができます。これまで多くの小学校教員、中学校技術科教員、高校工業教員を送り出してきました。近年、中学技術や高校工業の教員免許を出す大学が少なくなったために、愛知教育大学への期待が高くなっており、中学技術だけでなく高校工業の教員として採用されています。本学OBの現職教員の方々から、教育実習を充実させる内容・方法を教えてもらう授業を設定しています。そのため、教育実習の学びが充実できています。楽しく学ぶための教材の紹介や中学生段階での具体的な学び方についても、OBの現職教員の方々が授業例を教えてください。教育実習でも充実した授業が展開されています。



木材加工実習Ⅰ(2年前期)



金属加工実習Ⅱ(2年後期)

4年間の学び

4年間の前半では、技術ものづくりの基礎になる学びを配置しています。一つは製図であり、製図はものづくりの世界の言語にあたります。作る立体物の形を考えたり、他者に伝える場面で製図はとても重要です。工学的内容の基礎や農学的内容の基礎を1年や2年で学びます。2年次の後期からは、技術科の授業を円滑にできるようにするために技術科教育を学んでいきます。3年次は技術科教育に加えて、技術内容学(工学、農学)の学びを発展させていきます。その一方で、小学校免許に関わる科目を取っていくことになります。順調に単位を取ることができた4年生は、卒業研究や就職関係の学びを充実させていくことになります。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(技術)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(技術)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(工業)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 ものづくり・技術専修4年
愛知県立東海南高等学校出身



金属加工や木材加工、 ものづくりの楽しさを、「体験」を通して 子どもたちに伝えていきたい。

「百聞は一見に如かず」という言葉の通り、自らの目を見て体験することで、学びの楽しさや知識の深まりを実感しています。1年次に受けた「材料力学」でのブリッジコンテストが良い例です。グループ内で議論しながら橋を設計し、実験で強度を競い合いました。教育の現場でも、児童生徒が興味を持つには楽しさが欠かせません。自らが楽しいと感じた体験を授業でどう伝えていこうか、今後の課題だと思います。教科書の内容に加えて、身近な事例に置き換えて児童生徒の考える力を引き出す授業を模索していきたいです。

■ 2023年 2年次前期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科 教育内容A	栽培学	初等図画工作科 教育法A	初等算数科 教育内容A	中国語Ⅱ
2時限	初等音楽科 教育内容A		初等理科 教育法A		
3時限	英語コミュニ ケーションⅡ		この時間を使って 「学校体験活動Ⅰ」 の事前指導や ガイダンスを行う ことがあります。	金属加工法Ⅰ	
4時限		教育システム論		金属加工実習Ⅰ	木材加工法
5時限	知的障害者の 教育課程指導法	特別支援教育 基礎論			木材加工実習Ⅰ

*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。